



## 2022年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年1月27日

上場会社名 モーニングスター株式会社  
 コード番号 4765 URL <https://www.morningstar.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 朝倉 智也  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 小川 和久

TEL 03-6229-0810

四半期報告書提出予定日 2022年2月4日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 アナリスト・機関投資家向け、当社ウェブサイトにて動画開示予定

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	5,993	9.4	1,513	17.8	1,749	10.8	1,043	6.0
2021年3月期第3四半期	5,479	11.1	1,284	10.7	1,579	12.9	984	3.3

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 1,658百万円 (47.0%) 2021年3月期第3四半期 1,128百万円 (23.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円銭	円銭
2022年3月期第3四半期	11.64	
2021年3月期第3四半期	11.62	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
2022年3月期第3四半期	14,393	12,535	83.1	133.36
2021年3月期	14,189	12,358	84.6	133.95

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 11,958百万円 2021年3月期 12,011百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
2021年3月期		7.50		8.50	16.00
2022年3月期		8.00			
2022年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2022年3月期の期末配当予想額は現時点で未定であります。

### 3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

業績予想につきましては、現時点では未定であります。

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期3Q	89,673,600 株	2021年3月期	89,673,600 株
期末自己株式数	2022年3月期3Q	170 株	2021年3月期	170 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期3Q	89,673,430 株	2021年3月期3Q	84,766,452 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(2022年3月期の配当予想)

2022年3月期の期末配当予想は未定であります。今後の業績等を総合的に勘案して、1株当たり配当を決定次第開示いたします。

(決算説明会内容の入手方法)

当社は、2022年1月27日にアナリスト向け決算説明会を開催する予定です。この説明会の動画は、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間.....	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間.....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
3. その他 .....	11
継続企業の前提に関する重要事象等 .....	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2021年4月1日～2021年12月31日)の売上高は、ファイナンシャル・サービス事業のデータ・ソリューションにおいて、投資信託の販売金融機関が活用する「Wealth Advisors」の提供台数が前年同期の100,614台から12.9%増加し113,600台となり、タブレット・アプリケーションのデータ売上が増加いたしました。また、パソコンやスマートフォン向けのオンラインコンテンツの売上も継続して拡大し、SaaS(サービスとしてのソフトウェア)モデルの事業は引き続き拡大いたしました。しかしながら、2021年4月1日に「株式新聞」の紙面を休刊したことに伴い売上が減少したことで、データ・ソリューションの売上高は、前年同期(2020年4月1日～2020年12月31日)より△13.6%の減収となる、1,145百万円となりました。

ファイナンシャル・サービス事業のメディア・ソリューションは、新型コロナウイルス感染症の脅威が依然として続く中、対面セミナーをオンライン中心に切り替えるとともに、対面とオンラインを合わせたハイブリッド型セミナーを開催することで、セミナーの売上を増加することができ、併せて、WEB広告の売上も回復いたしました。しかしながら、2021年7月1日にゴメス・コンサルティング事業を会社分割で譲渡したことによるゴメス・コンサルティング事業の売上が減少した結果、メディア・ソリューションの売上は、前年同期より△24.2%の減収となる381百万円となりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間のファイナンシャル・サービス事業の売上高は、前年同期より302百万円(△16.5%)の減収の1,526百万円となりました。

アセットマネジメント事業におきましては、公募のインデックスファンドの運用残高の拡大に伴う信託報酬が増加したことに加え、地域金融機関の有価証券運用の高度化を支援する私募投信の運用残高の大幅な拡大に伴う信託報酬の増加により、売上高は前年同期より816百万円(22.4%)の増収の4,467百万円となりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の連結業績は、売上高が前年同期の5,479百万円から514百万円(9.4%)の増収となる5,993百万円となりました。

また、売上原価は、前年同期の2,585百万円から164百万円(6.4%)増加し2,750百万円となり、販売費及び一般管理費は、前年同期の1,608百万円から121百万円(7.5%)増加し1,729百万円となりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の営業利益は、前年同期の1,284百万円から228百万円(17.8%)の増益となる1,513百万円となりました。

営業外損益は、前年同期と比べ、純額で58百万円減少し、その結果、当第3四半期連結累計期間の経常利益は、前年同期の1,579百万円から170百万円(10.8%)の増益となる1,749百万円となりました。第3四半期累計期間の経常利益につきましては、当期で13期連続の増益となります。

上記の結果、当第3四半期連結累計期間の親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期の984百万円から58百万円(6.0%)の増益となる1,043百万円となりました。

[連結業績の概要]

	2021年3月期第3四半期 連結累計期間		2022年3月期第3四半期 連結累計期間		増減	
	金額(千円)	利益率	金額(千円)	利益率	金額(千円)	比率
売上高	5,479,100		5,993,736		514,636	9.4%
営業利益	1,284,924	23.5%	1,513,669	25.3%	228,744	17.8%
経常利益	1,579,304	28.8%	1,749,337	29.2%	170,032	10.8%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	984,969	18.0%	1,043,757	17.4%	58,788	6.0%

連結売上高は10期連続の増収、5期連続で過去最高売上を更新しました。

営業利益は2期連続の増益、かつ過去最高益を記録しました。

経常利益は13期連続の増益、10期連続の最高益を記録しました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は2期連続の増益、2期連続の過去最高益を記録しました。

セグメント別売上高、サービス別売上高は、以下のとおりであります。

セグメント別売上高	前第3四半期連結累計期間 2020年4月1日から 2020年12月31日まで		当第3四半期連結累計期間 2021年4月1日から 2021年12月31日まで		増加率 (%)
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	
サービス別売上高					
ファイナンシャル・サービス事業					
データ・ソリューション	1,325,606	24.2	1,145,294	19.1	△13.6
メディア・ソリューション	503,384	9.2	381,355	6.4	△24.2
計	1,828,991	33.4	1,526,649	25.5	△16.5
アセットマネジメント事業					
アセットマネジメント	3,650,108	66.6	4,467,087	74.5	22.4
計	3,650,108	66.6	4,467,087	74.5	22.4
連結売上高	5,479,100	100.0	5,993,736	100.0	9.4

1) ファイナンシャル・サービス事業

・データ・ソリューション

タブレットアプリの提供台数が前年同期の100,614台から12.9%増加し113,600台になったことにより、タブレットアプリによるファンドデータの売上が増加いたしました。一方、株式データは、株式新聞WEB版の売上は増加したものの、紙媒体が2021年3月31日をもって休刊したことにより、株式新聞購読料がなくなりました。その結果、データ・ソリューションの売上高は、前年同四半期の1,325百万円から180百万円(△13.6%)の減収となる1,145百万円となりました。

・メディア・ソリューション

新型コロナウイルス感染症対策による緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置により、対面での資産運用セミナーが開催できない状況が続きましたが、対面セミナーをオンライン中心に切り替えるとともに、対面とオンラインを合わせたハイブリッド型セミナーを開催することで、セミナーの売上が増加し、WEB広告の売上も回復いたしました。しかしながら、2021年7月1日にゴメス・コンサルティング事業を会社分割により譲渡したことにより、ゴメス・コンサルティング事業の売上が減少しました。その結果、メディア・ソリューションの売上高は、前年同四半期の503百万円から122百万円(△24.2%)の減収となる381百万円となりました。

2) アセットマネジメント事業

・アセットマネジメント

アセットマネジメント事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は、SBIアセットマネジメントが提供する公募のインデックスファンドの運用残高の拡大に加え、地域金融機関の有価証券運用を支援するSBI債券・インベストメント・マネジメントおよびSBI地方創生アセットマネジメントの私募の投資信託の運用残高が増加しました。その結果、アセットマネジメントの売上高は、前年同四半期の3,650百万円から816百万円(22.4%)の増収となる4,467百万円となりました。

セグメント別には、ファイナンシャル・サービス事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同四半期の1,828百万円から302百万円(△16.5%)の減収となる1,526百万円となりました。セグメント利益は、前年同四半期の524百万円から175百万円(△33.4%)の減益となる349百万円となりました。アセットマネジメント事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同四半期の3,650百万円から816百万円(22.4%)の増収となる4,467百万円となりました。セグメント利益は、前年同四半期の760百万円から403百万円(53.1%)の増益となる1,164百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産合計は前連結会計年度末と比較して204百万円増加し、14,393百万円となりました。

これは、流動資産が190百万円減少し、固定資産が401百万円増加したことによるものであります。

流動資産の減少は、主として売掛金が483百万円、その他流動資産が450百万円増加した一方、現金及び預金が1,124百万円減少したことによるものであります。

現金及び預金の減少は、主として、配当金を1,479百万円支払ったことによるものであります。

固定資産の増加は、主としてゴメス・コンサルティング事業の会社分割の対価として上場株式を取得したことによるものであります。

また、負債合計は前連結会計年度末と比較して27百万円増加し、1,858百万円となりました。

負債の増加は、主として未払金が20百万円増加したことによるものであります。

当第3四半期連結累計期間に1,043百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益が計上され、1,479百万円の配当を行なった結果、利益剰余金が435百万円減少し、4,029百万円となりました。

その他有価証券評価差額金がゴメス・コンサルティング事業の会社分割の対価として上場株式を取得したことにより413百万円増加し、アセットマネジメント子会社の四半期純利益の増加により非支配株主持分が229百万円増加しました。

その結果、純資産合計は、前連結会計年度末と比較して176百万円増加し、12,535百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の連結業績予想につきましては、当社事業と関連性の高い金融市場において、その動向を当期を通じて、想定するのは難しく、また、本事業年度は新型コロナウイルス感染症による影響を予想できないため、当社グループの業績を、現時点では合理的な算定を行なうことが困難であり、現時点では未定とさせていただきます。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,904,634	3,780,382
売掛金	1,306,261	1,789,276
棚卸資産	※1 1,252	※1 1,253
その他	201,592	652,282
流動資産合計	6,413,742	6,223,194
固定資産		
有形固定資産	※2 242,025	※2 180,820
無形固定資産		
のれん	1,892,815	1,714,939
ソフトウェア	1,294,494	1,138,413
その他	304,295	357,342
無形固定資産合計	3,491,605	3,210,695
投資その他の資産		
投資有価証券	3,585,678	4,350,986
繰延税金資産	223,214	241,637
その他	209,851	169,514
投資その他の資産合計	4,018,745	4,762,138
固定資産合計	7,752,376	8,153,654
繰延資産		
株式交付費	23,732	17,057
繰延資産合計	23,732	17,057
資産合計	14,189,850	14,393,906

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	62,838	62,935
未払金	798,850	819,646
リース債務	128,059	95,354
未払法人税等	457,220	260,408
未払消費税等	93,566	94,397
その他	254,586	374,881
流動負債合計	1,795,121	1,707,624
固定負債		
長期リース債務	35,798	-
繰延税金負債	-	150,384
固定負債合計	35,798	150,384
負債合計	1,830,919	1,858,008
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,363,635	3,363,635
資本剰余金	4,906,035	4,906,035
利益剰余金	4,464,870	4,029,016
自己株式	△29	△29
株主資本合計	12,734,512	12,298,657
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△627,728	△214,655
為替換算調整勘定	△95,418	△125,196
その他の包括利益累計額合計	△723,146	△339,852
非支配株主持分	347,566	577,092
純資産合計	12,358,931	12,535,897
負債純資産合計	14,189,850	14,393,906



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上高	5,479,100	5,993,736
売上原価	2,585,715	2,750,243
売上総利益	2,893,385	3,243,493
販売費及び一般管理費	※ 1,608,460	※ 1,729,823
営業利益	1,284,924	1,513,669
営業外収益		
受取利息	147,292	157,207
受取配当金	120,910	59,551
投資有価証券売却益	25,264	26,918
持分法による投資利益	5,840	-
為替差益	10,494	-
その他	1,708	7,492
営業外収益合計	311,510	251,169
営業外費用		
支払利息	16,447	-
為替差損	-	7,300
株式交付費償却	-	6,674
その他	683	1,527
営業外費用合計	17,130	15,501
経常利益	1,579,304	1,749,337
特別損失		
投資有価証券売却損	-	4,035
特別損失合計	-	4,035
税金等調整前四半期純利益	1,579,304	1,745,302
法人税、住民税及び事業税	464,505	496,380
法人税等調整額	14,692	7,833
法人税等合計	479,198	504,213
四半期純利益	1,100,106	1,241,088
非支配株主に帰属する四半期純利益	115,136	197,330
親会社株主に帰属する四半期純利益	984,969	1,043,757

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益	1,100,106	1,241,088
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	85,905	413,072
為替換算調整勘定	△56,914	4,042
繰延ヘッジ損益	△797	-
その他の包括利益合計	28,193	417,115
四半期包括利益	1,128,299	1,658,203
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,021,758	1,427,051
非支配株主に係る四半期包括利益	106,541	231,151

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用しておりません。

なお、当該会計基準の適用による第3四半期連結累計期間の損益及び期首利益剰余金に与える影響は軽微であります。

(時価の算定に関する会計基準の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

※1 棚卸資産の内訳

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
仕掛品	0千円	0千円
貯蔵品	1,252	1,252

※2 有形固定資産の減価償却累計額

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
	383,076千円	394,080千円

(四半期連結損益計算書関係)

※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
従業員給与	642,371千円	742,724千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、当第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
減価償却費	293,559千円	331,825千円
のれんの償却額	86,564	82,730

(株主資本関係)

前第3四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年12月31日）

配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額 (円)	基準日	効力発生日
2020年5月19日 取締役会	普通株式	利益剰余金	663,139	8.00	2020年3月31日	2020年6月1日
2020年9月16日 取締役会	普通株式	利益剰余金	621,693	7.50	2020年9月30日	2020年11月16日

当第3四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年12月31日）

配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額 (円)	基準日	効力発生日
2021年5月14日 取締役会	普通株式	利益剰余金	762,224	8.50	2021年3月31日	2021年6月1日
2021年9月22日 取締役会	普通株式	利益剰余金	717,387	8.00	2021年9月30日	2021年12月1日

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

(単位: 千円)

	報告セグメント			差異調整に関する事項	四半期連結損益計算書計上額
	ファイナンシャル・サービス事業	アセットマネジメント事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,828,991	3,650,108	5,479,100	-	5,479,100
セグメント間の内部売上高又は振替高	17,991	54	18,045	△18,045	-
計	1,846,982	3,650,163	5,497,146	△18,045	5,479,100
セグメント利益	524,612	760,312	1,284,924	-	1,284,924

当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

(単位: 千円)

	報告セグメント			差異調整に関する事項	四半期連結損益計算書計上額
	ファイナンシャル・サービス事業	アセットマネジメント事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,526,649	4,467,087	5,993,736	-	5,993,736
セグメント間の内部売上高又は振替高	18,091	56	18,147	△18,147	-
計	1,544,740	4,467,143	6,011,883	△18,147	5,993,736
セグメント利益	349,495	1,164,174	1,513,669	-	1,513,669

2. 報告セグメント合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)

(単位: 千円)

売上高	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間
報告セグメント計	5,497,146	6,011,883
セグメント間取引消去	△18,045	△18,147
四半期連結損益計算書の売上高	5,479,100	5,993,736

(単位: 千円)

セグメント利益	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間
報告セグメント計	1,284,924	1,513,669
セグメント間取引消去	-	-
四半期連結損益計算書の営業利益	1,284,924	1,513,669

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	11円62銭	11円64銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額 (千円)	984,969	1,043,757
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益金額 (千円)	984,969	1,043,757
普通株式の期中平均株式数 (株)	84,766,452	89,673,430
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額は、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。		

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。